

農林統計速報

最近の牛乳生産と消費の状況

(岡山統計調査事務所調査)

＝昭和 38 年度牛乳乳製品調査 4 月～6 月より＝

1、牛乳生産量

本年 4 月～6 月の牛乳生産量は左表のとおりで 20,103 トンであった。これを前年同期に比較すると約 1,300 トン、割合にして 8.5%の増加となっているが、前期（本年 1～3 月）の増加率 13.4%に対しては 4.9%の低下となっている。これは 5 月 6 月の長雨の影響で飼料作物生育が不良であったため、粗飼料の不足により泌乳量が減少したためと思われる。

月 別	38 年 (トン)	37 年 (トン)	前年対比 (%)
4 月	6,930	6,049	114.6
5 月	7,025	6,678	105.2
6 月	6,148	5,809	105.8
計	20,103	18,536	108.5
1～3 月計	18,102	15,970	113.4

2、用途別消費量

4～6 月の飲用向消費量は 5,936 トンで、総消費量の 31%を占め、季節的な需要の増加により、前期（1～3 月）に比べ 7%増加している。前年同期（37 年 4 月～6 月）に比べると 22.8%の増加で、牛乳生産量の増加率よりも飲用向の増加が大きく、天候不

月 別	38 年 (トン)			前年対比 (%)		
	飲用向	加工向	その他	飲用向	加工向	その他
4 月	1,754	4,909	585	116.4	127.0	106.6
5 月	1,984	4,284	533	118.3	104.6	101.9
6 月	2,198	2,291	558	133.1	70.6	103.0
計	5,936	11,484	1,676	122.8	102.5	103.9

県外との生産移出入の状況

月 別	移 入 量 (トン)					移 出 量 (トン)			
	広島	香川	島根	その他の県	計	広島	大阪	兵庫	計
4 月	433	255	70	5	763	22	185	238	445
5 月	454	239	62	—	755	26	588	365	979
6 月	385	201	61	—	647	31	1,142	575	1,748
計	1,272	695	193	5	2,165	79	1,915	1,178	3,172

順であったにもかかわらず順調な伸びを示している。一方加工用には 11,484 トンが向けられており、ほぼ前年並みの消費料となっているが、月別には 4 月は 1 月～3 月と同様な傾向で多くなっており、5 月は 1 部工場で乳製品の製造を中止して生乳を県外へ移出しているため、前年よりやや多い程度となっている。6 月は、5 月よりも更に県外移出が増加したため、加工向の消費が大幅に減少する結果となった。

家畜の妊娠期間暗記法

簡単なようではなかなか覚えられないものに妊娠よおびふ化期間がある。

そこで次のようなことを考えた

豚は ^{イイヨ}114 日、牛、馬を ^{フヤシ}284 日 ^{ミヨオ}340 日

豚は増やさなくてもいいよ、牛と馬を殖して見よう。と覚えるのである。

もともと、これは平均妊娠期間であって、種付した日から数えて、まちががなくこの日に生まれるというのではない。この日を中心に 1 週間くらいの間に生まれると考えるのがよい。なお鶏は卵が ^{フイ}21 日

(七尾英直著 おもしろい畜産読本から)